



2018年9月7日

## Audi e-tron の生産を開始

2018年9月3日、ブリュッセル：アウディは未来に向かって発進します。アウディ ブリュッセルは今日から、Audi e-tron の生産を開始します。ブランド初の SUV 電気自動車は、日常ユースに適した航続距離を備えています。最大 150kW の急速充電ステーションに対応した Audi e-tron は、約 30 分で充電を完了して、次の長距離ドライブに出発することが可能です。アウディは、ブランド初の電気自動車を、9月17日にサンフランシスコで世界初公開します。

AUDI AG 生産及びロジスティクス担当取締役のペーター ケスラーとアウディ ブリュッセル マネージングディレクターのパトリック ダナウは、工場から静かにラインオフされ、ミサノレッドに塗装された最初の生産車を出迎えました。「Audi e-tron は正真正銘のパイオニアです」と、ペーター ケスラーは述べています。「このクルマは、バーチャルエクステリアミラーをはじめとする革新的なテクノロジーを搭載し、優れたハンドリングやダイナミクスといった伝統的なアウディの品質に、従来の自動車の領域を遥かに超えた先進技術を組み合わせています。アウディのブリュッセル工場は、電気自動車を生産するために、徹底的に近代化されました。この工場は、プレミアムセグメントにおいて、世界で初めて CO<sub>2</sub> ニュートラルな生産拠点として認定を受けています」アウディ ブリュッセルは、生産工程及び工場施設から排出される全ての二酸化炭素を相殺しています。これは主に、再生可能エネルギーの使用と環境プロジェクトによって実現しています。

「アウディは、Audi e-tron のために、膨大な技術的能力を社内に蓄積し、バッテリー技術及び駆動システムの両方を自社開発しました。従業員は、数多くの生産工程を見直し、計画し、実行に移しました」と、パトリック ダナウは述べています。2016年の夏以降、ブリュッセル工場は、ボディショップ、塗装ショップ、組立ラインを段階的かつ徹底的に改築し、独自のバッテリー（モジュール）生産設備も立ち上げました。生産したバッテリーは、無人の輸送システムによって、ジャストインシーケンスで電気自動車の組立ラインに供給されます。ブリュッセル工場の従業員は、アウディ初の電気自動車のために 20 万時間以上のトレーニングを受け、生産開始に向けて完璧に準備が整っています。

アウディは、サンフランシスコで 9月17日の午後 8時 30分（現地時間、日本時間：9月18日午後 12時 30分）から開催される Audi e-tron の発表会の模様を、ウェブサイト ([www.e-tron.audi](http://www.e-tron.audi)) でライブ中継します。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。